

日時：令和8年2月16日（月） 19時00分～21時30分

場所：沖縄県医師会・3階ホール

テーマ：『ゴミに囲まれて暮らす、手術拒否のある方の支援 ～あるある事例をとおして、支援方法を考えよう～』

講師：岸 恵美子氏（東京医療保健大学 大学院看護学研究科 教授）

玉木 千賀子氏（沖縄大学 教授 社会福祉士）

寺田 明弘氏（ゆいま～る法律事務所 弁護士）

金城 隆展氏（琉球大学病院 臨床倫理士）

参加者数：92名

回答者数：80名

問1. 所属機関・事業所の所在地

（※1名が那覇市とうるま市の両方にチェックを入れているため、延べ人数で計算）

所在地	回答数	構成比
糸満市	7	9%
豊見城市	10	13%
南城市	8	10%
与那原町	2	3%
南風原町	10	13%
八重瀬町	2	3%
那覇市	20	25%
浦添市	19	24%
その他（西原町、うるま市）	3	4%
合計	81	101%

問2. 職種（選択肢順）

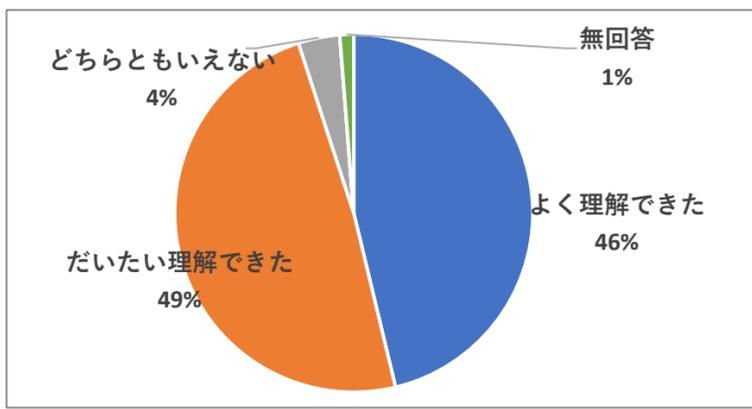
（※複数回答があるため、合計は100%を超えます）

職種	回答数	構成比
医師	2	3%
歯科医師	1	1%
医療機関看護師（訪問看護は除く）	4	5%
MSW・PSW	3	4%
リハビリ職	3	4%
薬剤師	2	3%
訪問看護師	2	3%
訪問介護	1	1%
施設管理者・施設代表	3	4%
看護師（居住・施設系）	6	8%
看護師（通所系）	0	0%
介護職員（居住・施設系）	2	3%
介護職員（通所系）	0	0%
介護支援専門員	18	23%
包括：介護支援専門員・ケアプランナー	10	13%
包括：保健師・看護師	6	8%
包括：社会福祉士	5	6%
行政	5	6%
その他（CSW、老健相談員など）※	14	18%
合計	87	109%

※認知症地域支援推進員・事務職・独立型社会福祉士・地域包括支援センター（基幹型）PT・生活サポート事業・有料老人ホーム相談員

問3. 講話『セルフ・ネグレクトとは』の理解度

評価	回答数	構成比
よく理解できた	37	46%
だいたい理解できた	39	49%
どちらともいえない	3	4%
あまり理解できなかった	0	0%
全く理解できなかった	0	0%
無回答	1	1%
合計	80	100%

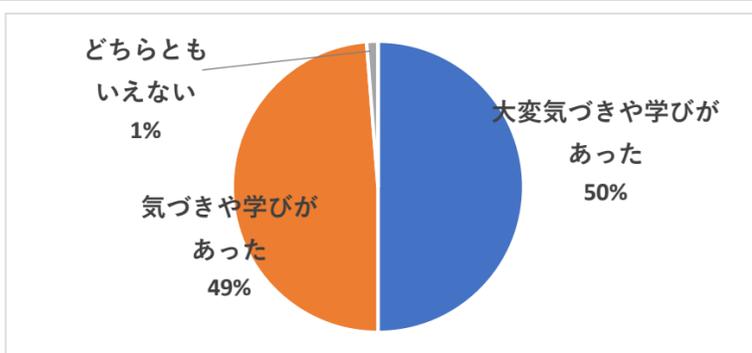


講話についてのご意見・ご感想

- ・セルフ・ネグレクトから孤独死につながる点を知ると、病院受診したタイミングで地域の行政にしっかり情報共有する重要性を感じた。
- ・ご本人が生きてきた経過を尊重し、本人の思いに寄り添い支援することが大切。
- ・時間制限があり、先生の講話がスピーディーに進められたのですが、資料をいただいたのでゆっくり読み直して理解したいと思います。
- ・もう少し岸先生の講義（体験談）を伺いたかったです。とても分かりやすかったです。
- ・もっと時間が欲しかった。詳しく聞きたいと感じた。
- ・倫理の話がおもしろかったです。
- ・セルフ・ネグレクトについて改めて学べた。
- ・「関係性構築アプローチ」→自己決定を支援し、健康・安全を守る。「問題解決型アプローチ」→困りごとをひきだす。その人らしい生き方を支援することの大事さがよく分かった。
- ・セルフ・ネグレクトは、まさに「緩やかな自殺」だと感じています。生きる力を消耗しているので、一緒に取り戻していけるよう支援できるといいなと思います。
- ・ネグレクトという言葉に馴染みがなかったので知ることができ良かった。また、どうしたいか一緒に悩む、中間に答えがあるなどはハッとさせられた。
- ・在宅ではこのような事例が多いので、本当に困ったものだと思う。今後もこういう事例は増えて、支援者を悩ますことが多くなると思う。
- ・セルフ・ネグレクトに対しての考え方や向き合い方が勉強になりました。
- ・すごく分かりやすかったです。勉強になりました。ありがとうございました。
- ・セルフ・ネグレクト（自己決定）についてが大切である。認知行動療法が効果的である。その人に寄り添うことが大切。
- ・自分のケースで、この場合はセルフ・ネグレクトにあたるのか考えてしまいました。
- ・セルフ・ネグレクトとネグレクトの考え方を学ぶ事ができた。又、このような状態における研究をした岸先生のデータを見て、約4～6割の方が死を選ぶという事について、支援者としてスピード感を持って今後も対応していきたいと思う。
- ・セルフ・ネグレクト、アセスメントシート大変ありがたいです。
- ・セルフ・ネグレクトの人への支援の方向性が、ずれていないと感じることができ安心した。
- ・セルフ・ネグレクトにも種類があることが分かった。
- ・事例を通じていろいろな意見が聞けて良かった。

問4. グループワークからの気づきや学び

評価	回答数	構成比
大変気づきや学びがあった	40	50%
気づきや学びがあった	39	49%
どちらともいえない	1	1%
あまり気づきや学びがなかった	0	0%
全く気づきや学びがなかった	0	0%
合計	80	100%



グループワークに関するご意見・ご感想等

- ・時間が短かった。
- ・本人の意思を尊重し、一緒に考えることが大切。本人の気持ちをすべて受け入れ、少しずつ関係性を構築し意思（気持ち）を引き出していくことに繋がる。
- ・アセスメントツールの利用について、具体的な説明を聞きたかった。
- ・まずはご本人を知ること、自分の価値観を押しつけず、ありのままを受け入れる。一緒に悩み、関わっていく。
- ・SOSを見逃さない、利用者さんの言動、行動、表情の観察。医療機関の関係性がうまくいかなかった…のか、色々と考えさせられました。
- ・支援者側の視点（大きなゴミ、栄養不良）、本人の選択（医療拒否、ゴミ屋敷）の中間をチームで話し合い、決断していく過程を大切にしたい。
- ・各専門職の視点でいろんな意見を聞き、気づきや考え方の学びがあり、グループワークを研修で取組むことは大事だと改めて思った。
- ・他職種の考えや意見が自分とは違い良かった。
- ・多くの方がゴミ屋敷問題をかかえているんだと感じました。色々な考え方があり勉強になりました。
- ・本人の思い、意思、伝えていることから逸れない。物事を複雑、大事にしすぎないようにする。当たり前だけど、しがちなーと思った。
- ・ケア方法に正解はないと改めて感じました。
- ・関わり方、介入のタイミング、本人の気持ちからヒントを得るなど、意見から気づきが多くあった。視点を変える考え方が学びになった。
- ・皆で考えると色々な案が出ると実感しました。活かしていきたいと思いました。
- ・すぐに解決しようとするのではなく、本人の困りごとからアプローチしていく視点が改めて大事だと感じました。
- ・問題というのは人の中ではなく、人の中にあると考える。とてもすばらしい考え方だと思いました。
- ・グループワークで考えるには難しい事例だと思った。
- ・専門職であるがゆえに、本人が気づかないことを一緒に悩んで支援する手伝うということ意識して、マニュアルどおりにならないように個々に寄り添うようにしたいと思いました。
- ・色々な話が聞けて学びになりました。
- ・自分のグループだけでなく他のグループの意見が聞けて、今後の支援の参考にしたいと思いました。
- ・まずは労いの言葉をかける所から……の話しを伺った時に、基本的なことを忘れていたなと思われました。
- ・一人一人の生活は一人一人違うもの。似た事例はあってもまるで同じではないので、今回「セルフ・ネグレクト」のある方の支援についてグループワークをすることで、いろいろ気づきがあり良かったです。
- ・やはり多職種と対面で話しをすることは、気づきや学びが多く良かったです。
- ・多職種連携の重要性。
- ・具体的にどのような関わりがいいのか参考になった。
- ・いろんな意見が伺えて、とても参考になりました。
- ・たくさんの視点や解釈が勉強になりました。
- ・3段階に分けたグループワークが良かった。
- ・アセスメントの重要性・チームで判断・信頼関係が答えを作る。
- ・初対面が多く職種も様々でしたが、とても活発で楽しいGWができました。1グループのみなさんありがとー。
- ・一緒に考える姿勢、受け入れることの大事さを学べた。
- ・職種により考え方やアプローチに違いや、沢山の方法があることを知る事ができて良かった。
- ・「どのように対応しますか」の問いに最初戸惑いを感じたが、多職種でいろいろな視点を学ぶことができ良かった。
- ・GWの話し合いの中で、最終的に地域包括支援センターや行政に依頼するという流れになる場合があります。個人的には、各専門職それぞれの立場からさまざまなアプローチ方法について意見を出し合うことに意義があるワークだったのではないかと感じました。
- ・共に意思決定することが大事である。
- ・色々なグループワークの意見を聞く事ができました。各専門職からの意見が参考になる。
- ・多職種による専門的な視点から色々な気づきや学びがあり、とても勉強になりました。
- ・初めての分野だったので、講師やグループの多職種からの話しが聞けて良かった。

- ・医療側は、地域の支援者に比べると解決を急ぐ傾向があると感じた。
- ・本人を理解する想像力を日頃から持つことが大事と感じた。「支援する側」「支援される側」と分断されるのではなく「共同意思決定」が大事と感じた。
- ・多職種からの目線で意見を聞くことができたので良かった。
- ・NS、包括、ケアマネ、CSWと多職種でいろいろなお話しが聞けて勉強になりました。
- ・実践に使用できる内容であった。
- ・いろいろな視点から考える機会になった。
- ・同じ事例を段階的にグループワークをすることで、いろいろと考えることができた。本人の声を時間をかけて聞くことが大切。信頼関係をつくる。

問5. 本研修会全体へのご意見・ご感想等

- ・普段関わることが少ない方々の意見を聞いて勉強になりました。自分の意見を押しつけず、相手の気持ちに寄り添い介入していく大切さを改めて考えるきっかけとなりました。
- ・セルフ・ネグレクトについてアセスメント、支援ツールのBookを購入したいと思いました。
- ・岸さんの話をもっと聞きたかったです。また機会があった際は参加したいです。ありがとうございました。
- ・支援のヒントとなる研修となりました。ありがとうございました。
- ・グループの方の考えや意見が大変参考になりました。今後の困難事例へのアプローチに活かしたいと思います。
- ・自分一人では気づけないことに気づき考えさせられたので、またこれを持ち帰って取り組みたいです。
- ・事例を通して支援方法、多職種での話し合い、大変勉強になりました。今後も色々なテーマを定例的に取り入れ、講話・グループワークがあればと思いました。
- ・大変参考になりました。ありがとうございます。
- ・今回の研修はたくさん学ぶことがあった。多職種からの意見を聞くことができ、チームで支援することの大切さを学びました。先生からのアドバイスはすべてが身にしみる言葉で今後の支援に活かしていけそうで
- ・今回の事例は実話なのか？作り話なのか？実話ならその後どうだったのか気になりました。
- ・グループワークのモデルケースのその後どうなったのか気になります。支援が成功したのか失敗したのか、どういうアプローチをとったのか気になりました。
- ・自らの自己決定に裏付けられた尊厳ある暮らしの実現って難しいですね。奥が深いけどやりがいがあります。
- ・一緒に作っていく、考えていく、共同意思決定はすごく良い考え方だと思いました。
- ・支援ツールは職場で、今回参加できなかった同僚にも共有したいと思います。他のグループの意見もデータでみてみたいです。貴重な講演の企画ありがとうございました。
- ・大変良かった。社協さんと協力していきたいと思いました。
- ・職種の違いで、対応や考え方も違って、とても勉強になりました。
- ・初めて研修に参加しました。とても良かったです。また来ます。ありがとうございました。
- ・セルフ・ネグレクトに対して、深掘りすることができて良い機会になりました。
- ・知りたい内容だったので、良く理解でき学べた。他の方の意見を聞くことができて良かった。
- ・今後も今回の事例を現場でも持ち帰り、みんなで考えていきたいと思いました。
- ・今後の支援に役立つ研修でした。ありがとうございます。
- ・セルフ・ネグレクトは時間をかけて関係を作る必要がありますが、周囲の困りごと（ゴミの片付け）などがすぐに解決しないため「役所・包括に相談しても何も変わらない」と言われることが多く、現場はつらいで
- ・介護保険サービスを持続可能なモノにするためにどのような取り組みが必要か、介護人材不足の中、とりあえずデイサービス・入浴サービスが導入され何の自立を支援しているのか、介護ビジネスと自立支援の本質について意見交換してみたい。
- ・ゴミ屋敷と認知症ケースについて事例検討会をお願いしたい。
- ・グループワークではなく講義で聞きたかった。
- ・ゲストの方？の話はちゃんと聞きたいので、その方の紹介は短くて良いかと思います。時間が…どこに時間を使うかをさらに計画してもらえたらと思いました。
- ・講師の先生のマイクの音が少し小さくて聞き取りにくく感じました。
- ・開始30分早いと助かります。
- ・休憩がなくて、少しせわしかったです。
- ・おつかれ様でした。月曜でなければもっと良かった！！ありがとうございました。
- ・月曜日でなく、金曜日だともう少しゆっくり聞けました。